



のぞみ 希望

学校
ホームページは
こちら



学校ホームページアドレス <https://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/sugita/>

150才を迎える「杉田校」

校長 藤崎 健児

今年度、本校は開校150周年を迎えます。学校図書館前の廊下には、昔の学校や杉田のまちの様子分かる写真が掲示されています。これまで、150年もの間、杉田小学校が地域に愛され、そして、大切にされてきた「証」です。

今年は、子どもたちと共に「杉田小学校の150才のお誕生日をお祝いしよう」と考えています。私たち教職員スローガンは「すぎたが すきだ ～未来へつなごう150年分の思い～」。150周年を機会にさらに「学校大好き このまち大好き 杉田っ子」の実現をめざして、「学習」を展開していきます。

さて、杉田小学校校歌1950(昭和25)年10月に制定され、10月15日の運動会で披露されたそうです。作詞は小田原市在住の詩人 福田正夫さん、作曲は当時の横浜市教育委員会 松井健祐さんです。福田正夫さんは資料によると、神奈川県立師範学校卒業後、川崎市の小学校の先生になり、詩集『農民の言葉』を自費出版して注目されたそうです。昨年度の6年生は杉田の時間(総合的な学習の時間)に福田正夫さんについて調べ、「ヒット曲の作詞をした」と教えてくれました。(曲は1938年にレコード化され、その後映画化された「愛国の花」という歌のようです。)

横浜市立杉田小学校校歌

春さきがけの梅咲いて
屏風浦の山々は
希望をうつすみどり影
まことは匂う杉田校

岸うららかな景色栄えて
海には幸の海苔魚貝
開港都市にそだつ自由の子
伝統は清い杉田校

新時代にふさわしの身を守りて
世界のひと手を握り
理想をみがく平和の子
誉は高い杉田校

この学校だよりの題「希望」は校歌の歌詞が由来であることがわかります。歌詞を読むと当時の杉田のまちの様子が目に浮かびます。青々とした屏風浦の山。目の前に広がる海。その海は「世界」につながっています。インターネットや交通機関の発達で身近になった「世界」とつながりながら学ぶ子どもたちの姿。英語も学習するようになりました。景色は変わりましたが、子どもたちの「未来」をしっかりと予測しています。校歌が制定されてから73年。今をここからさらに先の「新時代」を、子どもたちとともに考えたいと思います。